



my City Report



市民参加でまちをもっと住みやすく

My City Report とは？

市民と自治体が協働してまちの課題に取り組むことができる

My City Report for citizens 市民協働投稿サービスと

車載したスマートフォンが正確かつスピーディな道路損傷個所の検出を行う

My City Report for road managers 道路損傷検出サービスの総称で、

利用自治体で構成する**My city Report コンソーシアム**が運営しています。

まちで見つけた“こまった”を投稿する
「市民協働投稿サービス」

My City Report for Citizens

市民はまちで見つけた「こまった」を投稿することで、自治体や他のユーザーに課題を共有でき、自治体では、電話、メール、LINE等からの通報やパトロール結果も、管理画面内で一元管理することができます。



使い方

まちで見つけた「こまった」を、市民と自治体で簡単に共有することができます。

1 こまったを発見

道路の損傷など、まちの「こまった」を発見



2 こまったを共有

My City Report for citizensを使って、画像、位置情報などを投稿



3 市民と自治体が協働

共有された「こまった」に対して、自治体と市民が協働対応



アプリの主な機能

▶ フィルター

「フィルター」ボタンを押すと、「自治体」「レポート分野」「ステータス」でレポートを絞り込むことができます。

▶ 一覧

「一覧」では、公開されたレポートが更新順に表示されます。タップすると、レポート詳細が表示されます。

▶ マップ

「マップ」では、公開されたレポートがマップ上に表示されます。タップすると、レポート詳細が表示されます。



こんなこともできます

▶ レポート分野の設定

道路、公園、廃棄物、水路などから選択

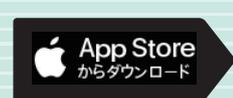
▶ テーマレポート

自治体が設定したテーマに関するレポート

▶ かいけつレポート

市民が解決した課題に関するレポート
※提供自治体によりメニューが異なります。

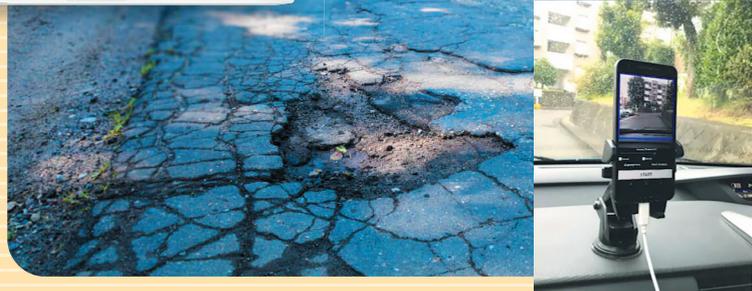
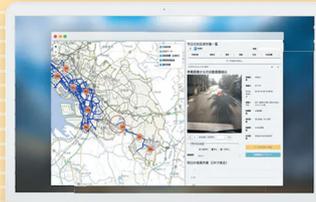
二次元バーコードをスキャンして
今すぐアプリをダウンロード！



AIによる検知「道路損傷検出サービス」

My City Report for Road Managers

これまで多くの自治体で行われていた車上からの目視による道路損傷確認業務をAI(人工知能)に置き換え、正確かつスピーディな道路損傷個所検出を行い、業務の効率化を図ります。



現場作業の手間を大幅に縮小。業務クオリティ・効率アップ!

使い方

1 アプリで自動検出

スマートフォン専用アプリで損傷を自動検出



2 自動アップロード

損傷画像をサーバーへ自動アップロード



3 管理画面でチェック

管理画面で損傷画像をチェックし、対応を決定



アプリの主な機能

▶ 道路路面撮影用アプリ

道路の損傷箇所を専用スマートフォンアプリを通じて自動で判定し、サーバーに損傷を含む画像のみを自動送信します。専用デバイスは、車両エンジンON/OFFで自動的に点検開始/終了されるため、スムーズにお使いいただけます。



▶ 現場に行かずに損傷を確認・管理

期間、損傷の種類(ひび割れなど)、対応状況(経過観察・補修予定・補修済み)等を指定して確認したいデータを絞り込み表示します。



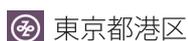
▶ ダッシュボード

自治体から提供されたデータと検出された道路の損傷状態から、簡易的な路線評価や更新費用予測を行えます。

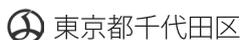
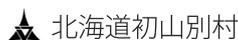


My City Report コンソーシアム加入自治体 (2025.10 現在)

for Citizens & for Roadmanagers



Only for Citizens



Only for Roadmanagers



一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会

My City Report Website



【 My City Reportコンソーシアム事務局 】

■詳細はホームページをご覧ください。

〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-1 TCMビルディング 2階 E-mail mcr-info@aigid.jp <https://www.mycityreport.jp/>